

学校づくりアンケート（教職員向け）に寄せられた声の紹介

2015年2月 尾北教職員労働組合

1 今、子どもたちは

◎子どもたちは、どんな不安や悩みを抱えたり、困ったりしているか。

5 (友達関係・コミュニケーション力)

- 人間関係が希薄，しかも複雑
- 生徒同士の間関係
- 友達からのちょっかい・からかい・いたずら
- 友達にまちがったことなどを言うと嫌われるといった人間関係

10 ●かげ口を言われること

- 不安定な友人関係
- 人間関係が希薄，しかも複雑
- 「仲間が自分を認めてくれない」と感じる時

15 ●友達との人間関係（携帯，スマホを使ってのメール交換，LINEでのグループトーク）

- 友人関係（ネット上も含む）
- メールなどでの嫌がらせ
- 携帯電話，ネット，Line

20

- ことば（きつい言葉）を心の中でうまく処理できない。
- コミュニケーション力が低下しているように感じる。
- 自分のことをうまく伝えられず，不満をためてしまう。
- コミュニケーションがうまくとれなくて，相手にしているときは何も感じないのに，自分がされたときには被害者意識が強くなる。LINEによるトラブルが頻発している。周りとは協調することにストレスを感じている生徒もいる。

25

(自分のこと)

- 自分に自信を持ってない子が多い。
- 自信がない，周りにあわせすぎる。
- 初めてのことに對する消極さや友達の意見に反対する意見をためらう傾向があるように思う。

30

- 「自分」がよくわからなくて困っていると思う。

- 一人になることが不安

35

- 人からどう見られているか。自分に自信がない。
- 自分の意見を人前で発表することなどに自信を持ってない児童が多い。
- まわりを気にしている。

- まわりとくらべられること。競争的な雰囲気。自分に対する否定的な言われ方

- 自分を開放できないストレス，遊べないストレス，一息できる時間

40

- 周りの人（友人）にどのように思われているかを気にしている。

- 何かができるかどうか。友だちと比べて劣っているのではないか。

- 間違えることをとても気にする。いつもいい子でいなくちゃいけないしんどさ。

- 先生への不満
- 将来のこと
- 夢や希望が持ちにくい。

5 (親や家庭のこと)

- 親が子どもの良い面より悪い点の方を重視すること
- 親や同居している大人の精神面や経済面の不安定さ
- 親やまわりからの過剰な期待
- 甘えられる、話せる相手の不足
- 10 ●親が忙しくて、自分のことをしっかり見てくれていないこと。
- 親子関係や家庭でのストレスを学校に持ち込んでいることが多い。
- 実は発達障害があるのに、保護者がそれを認めず、二次障害を起こして困っている子がいる。(登校しぶり、母子分離不安)
- 家庭環境が複雑になっている、親の離婚や再婚、経済的格差
- 15 ●家庭環境が悪い家は、子どもが良くない影響を受けていると思います。

(進路や学習のこと)

- 勉強が分からない、兄弟や姉妹で比べられる。
- 勉強ができない。
- 20 ●間違えることへの不安
- 得意なことが見つからず、自信が持てない。
- 勉強が分からず、どこから手をつけたらいいか。
- 習い事で忙しく、ゆったりしていない。放課後の遊び時間が少ない子が多い。
- 成績や習い事
- 25 ●習い事などにストレスを感じている。
- 中学3年の主任をしているので、進路についてが多い。
- 将来の進路，学力

(その他)

- 30 ●将来が見えない。暗い未来。そんな不安を私は抱えていますが、子どもたちも持っているのでしょうか。
- 短期間で成果を求められる世の中が、子どもたちにも影響している気がする。

2 道徳の教科化

35 (反対)

- 教科化にする意味が分かりません。道徳を教科にして果たしていじめなどがなくなるのでしょうか疑問です。
- 道徳は学校の道徳の時間だけでなく生活のすべてから影響を受けるから育っていくし、評価は文章表現であってもなじまない。
- 40 ●戦前の「修身」のようになっていく可能性がある。安倍首相はそれをねらっている。
- いろんな場面でやっていきたい。
- 道徳を教科化しても、根本的な課題は解決しないと思う。学年や学級により必要な

時期に、適切な内容を実施した方が効果があると思う。

- 道徳は、人として自分の中に新たなよりよい価値観を見出すものであると思うので、教科として扱うのには強く反対します。
- 価値観の押しつけをするべきでない。
- 5 ●本来道徳というのは、いろいろな考えがあっても良いものなのに、教科化にすることによって、本来のものが損なわれてしまうからです。
- 教科として教えることではないので。
- 特定の価値観の押しつけには抵抗感が強い。
- 道徳を教科化すれば解決するとは思えないから。日ごろからの取り組みが大切だと思う。
- 10
- 表面的ないい子がふえそう。
- 自分で装うことができる。模範的なことを言う（書く）ことと実際の行動とは食い違う。評価が言葉では大変。
- 15 ●教師が喜ぶような回答を言う児童が増え、本音を引き出すことが難しくなる。
- たてまえの答えを意思表示する子が増えると思う。
- 教科として評価していくことになると、子どもたちも「よい子の回答」しかなくなるように思う。
- 教科化されれば、成績をよくしようと、先生に合わせるだけで、自分で判断しようとしなくなる子になってしまう。
- 20 ●「こう思わなければならない」「こう感じると答えた方がよい」など、子どもを精神的に拘束することにならないかと危惧しています。
- うわべだけとりつくろう子が増えると思うため。
- 大きくなれば、文章力のある子は本音と立前を使い分けて、成績だけよいものをとる。授業と実態の差が出る。意味がない。佐世保事件のようになる。
- 25
- 評価が取りにくい。
- 人の心进行评估するのは難しい。
- 教科になると評価の問題が出てくると思います。私たちの道徳は少し使いづらかった。
- 30 ●どのように評価するのか？
- 評価はできない、価値観の押しつけはしたくない。
- 評価が必然となり筆記（文章）で行うことになりそうだが、例えば自己中心的、不公平、異常な考えばかり持った子の評価はどう書くのか。
- 35 ●良心ははかれないから。
- 心进行评估できない、他の人の考えを押しつけることになりそう、今までの指導と全く異なってくる。
- 心の問題であり、表面的には分からない、評価なんかできない。
- 教科にすると、評価が発生して、道徳的価値や指導にひずみが生まれる。評価のための教育になり、おかしくなっていく。
- 40 ●評価を担当が文章で書くということになると、担任の負担が大きくなる。
- 評価を文章表現にしても教師の事務仕事が増えるだけで、子どもたちの道徳性の向

上にはならない。先生が子どもとゆとりをもってきめ細かく接することができる少人数学級編成が子どもの道徳性の向上にもつながる。

- 心のありようを評価すべきでない。
- 記述式評価は、正直意味がない。
- 5 ●何をもって評価するのが不安である。
- 内心を評価するものでないし、特定の価値観を押しつけるのではないかと心配。
- 道徳を授業として実施することは必要と思うが、教科化すれば、それに対する評価をする必要も出てくる。文章表現で評価することを考えているようだが、人の心を評価するのは自分としては抵抗がある。
- 10 ●教科化となれば、評価せねばならず、道徳性というものを評価することはおかしい。また、英語活動のように文章で表現する、評価することに意味は見いだせず、教職員の負担を増すだけである。
- 今までも道徳はあり、それ以上のことを求めるのは難しいと思います。教科書的なものがあればいいですが、評価することの意味が見出せません。
- 15 ●子どもの発達状況や置かれている環境等、同一の価値観では正しく方向性や常識としてとられにくさも発生すると思うからです。教科化するという事は、評価するという事。その点でも、評価基準をどうするのか疑問です。
- 教科にすると評価することになるが、そもそも成績のように評価できるものではないし、価値の押しつけになってしまう。
- 20 ●「私たちの道徳」は、使うのなら本当に子どもたちに自由に使わせるべき。
- 教師の多忙化につながる。
- 教科でいっぱいなので、道徳を教科にするのは時間的に厳しい。
- 25 **(どちらとも言えない)**
- 道徳が教科になっても建前でよいことを言ったりするだけの子どもにならないように指導していく必要がある。
- 確実に授業をやるためにはしかたがない。
- 道徳と4つの領域の1つから教科の一つに組み入れるイメージがあり、一層の軽視ではないかと思う。
- 30 ●いろいろな題材があり、よいと思う。すべて使うのは難しい。
- しっかり指導することには反対しないが、評価することに無理や不安を感じる。
- 教科化しても評価しないのであればよい。評価することになれば、よほど考えて実施しないと裏表のある子をつくりかねない。その結果、今まで表に出ていて指導したり、方向修正したりできたものが表出しなくなり、陰湿な方へ走りそうでこわい。
- 35 ●道徳の教科化は大切だと思うが、評価などしっかりした方策と説明が必要。
- 言われればやりますが、評価(所見?)みたいなものを出さなければいけなくなると負担が大きくなると思います。
- 40 **(賛成)**
- 教科にすることには賛成。週1に組み込まれていても、他のことに振り返ることな

く必ず実施すべき。評価については反対。文章表現ということだが、何を基準として評価するのか、基準はだれが作るのか、担任の基準になりはしないか等、すべてがあいまい。

- 5 ●中学校において、道徳そのものがちゃんと行われていない気がします。しかし、毎日起こるトラブル、行事へ向けて学級経営のための指導の時間に使われていくのも仕方ないことです。

4 全国学力テスト

(反対)

- 10 ●競争になってしまう。
- それが学校ごとの競争にならないか心配。テスト対策とか無意味なことに時間を使わなければならないようになったらもったいない。
- 競争が激しくなっていると感じる。
- すでに競争が起きていて、調査がゆがんでいる。現在も子どもたちに過度な負担になっているのに、理科が追加されるなんて考えられない。
- 15 ●結果公表はすべきでない。発達障害や学習障害の子が多い学級が下位になりかねない。そういう学校で体をはって忍耐強く日々の教育活動を行っている教員の質や能力は、学力テストなんかで測れるものでない。
- 20 ●実施している文科省が競争をあおったり、公表は好ましくないと言っているのに公表したりするのは、教育を知らないとしか思えない。
- 結果公表をして子どもたちにプラスなことがあるのかが疑問です。
- 公表すれば、学校・市町・県での競争をあおるだけ。
- 順位が一人歩きして、学校が混乱する。
- 25 ●点数ばかりを気にする教育になる。教育の目的は学力向上もあるが、人格の陶冶のはず。
- 結果の公表については反対です。公表することによってプラスの面はあまりないように感じます。
- やるのはいいが、公表は絶対反対。自校の学びの状況を知り、考えていく資料としたい。
- 30 ●結果を公表すれば、競争をあおるおそれがあり、断固反対である。また、学力状況を知りたいのであれば、抽出で実施することで十分と思う。
- 学びが歪められる。教育条件整備のためにお金を使って欲しい。
- 35 ●まったく意味のないことなので、やめるべき。まともにとらえることができない政治家や親やマスコミが多すぎるから害になるだけ。
- まる一日授業つぶしてやる意味がない。
- 普段の評価テストで子どもの学力は分かる。やりっぱなしのテスト、難しい内容で、子どもには負担でしかない。
- 40 ●税金のムダ遣い
- 予算を「30人学級の実現」に使った方がいいと思う。

- 税金の無駄が多く、もっと教育設備や教師の増加分にあてた方が有効。

(実施方法や結果の扱いについての意見や要望)

- 競争にならないよう自校の結果のみを知らせるようにする。
- 5 ●結果公表，県単位ならよいがそれ以上細かい単位ではして欲しくない。
- 現学力状況を知るためには必要。そのデータを基にして学校行事の見直しが行える。
- 親としては知りたい人もいるのでは。現状を正しくありのままに把握して強化すべき点（部分）を探る，知る手だてとして活用する方向で行うのがよいと思う。
- テストそのものに反対ではないが結果の取り扱いは慎重にお願いしたい。
- 10 ●学校ごとの順位が公表されるのであればやめるべき。私立ではない。

- 今まで通り県別程度で良い（やるならば）。
- B問題は，大人が解いてもよく分からない場合が多いように思う。基本的なことと少しの応用だけでよいのではないか。
- 15 ●競争意識を持たせることは大切だと思う。ただ，結果公表という手段はどうかという疑問は残る。
- 心配された事案が静岡であったり，テスト対策があったりと本来の目的とずれている。
- 事前や事後の対応が大変。
- 20 ●子どもの学力を知るために行うことは必要だと思います。しかし，結果を公表することは，子どもにとってよくない影響があると思います。
- 現状の傾向をみるためには抽出で，非公表という形で実施するのはよいが，全国的にすべての子で行うということは実施当初からもともと，比較したいがために行うのだと考えていた。本質からかけ離れており，正しい認識をしていない市町村長の判断が行われるというのが納得いかず，教育崩壊につながると思う。
- 25

(賛成)

- そこまで躍起になっている学校は，自分の周りでは少ないので，特に気にしていません。
- 30 ●結果公表自体は，いいと思う。それに過敏に反応する人たちがよくない。
- 学力向上には必要
- 本校では競争にあおられている現状はないと思う。むしろ，教員も危機感を持って望むべきである。社会に出て優劣をつけられるのに，義務教育の最後にブラックボックス化することこそ現実逃避ではないか。
- 35 ●中学校において，卒業していく生徒が社会で最低の学力を持っているかどうか知るための判断材料としては必要です。

4 勤務時間の割り振り

(割り振り)

- 40 ●職場では，割り振りが長期休業中にとれるようになっているので，恵まれているのではないかと思います。
- 割り振り変更簿があるので，割り振りを使いたいときに申請しやすい。

- 時々、一斉に早めに「勤務解除」の日があり、とれる場合はとっている。割り振りがほとんどとれないのは、現状を考えると致し方ないかなとも感じます。ただ、決して良いことではないはずです。
- 割り振りは、ありがたいです。休憩時間は、ほぼありません。とれません。
- 5 ●普段の日はとれないので、夏休みや冬休みにとる程度。
- 割り振りをとっていただけるだけ有り難いが、実際には長期休業にしかとれない。
- 1学期分まとめて一人一日みたいにされても困るというか、納得できないかな。でも平日割り振りは難しいので長期休みで取るのが一番やり易い。
- 仕事量が減らない限り、進んで取れない。所用で、授業後に時間休が必要な時、「割り振り」で」と言ってもらえるのはありがたい。
- 10 ●とれて当たり前
- 今のところ問題なし
- 割り振りの行われ方は今のままでよいです。
- 15 ●割り振りが長期休業のうちにもっと柔軟にとれるとよい。
- 長期の休みにとれるよう、時間をはっきり提示してほしい。
- 冬休みや夏休みにまとめて取りたい。
- ちゃんととれるときに割り振りをして欲しい。7時間45分が勤務時間になったので「15分」のハンパをどうにかして欲しい。
- 20 ●時々その話を聞いても実際に行使されていない。
- 割り振られても、職務が多忙でなかなか帰れない。
- 「割り振りをとってください」と言われるが、どのくらいとっていいのか、いつとっていいのか、職員室の雰囲気上、まわりには堂々と言いつらく、聞けない。また、仕事が多いので、どうぞと言われても、やはり無理がある。「言った」ということに校長は満足そうで、それが不満です。
- 25 ●担任を持っていると、やはり（割り振りが？）取れない。
- 取りたい、帰りたいと思っても、困っている生徒や保護者を目の前にすると、帰れません。仕方ないことです。
- 30 ●割り振りがあるような勤務は見直すべきである。しかし、現実には学校の事情があり、子どもとの関係があるので話し合い、合意しながら進めていかなければならない。
- 時間外勤務をできるだけなくす。どうしても必要なら、割り振りが確実にとれるようにする。「割り振り可」と言っても、実際にとれる状況でなければ、意味がない。
- 他地区では、学年会などにも割り振りがあるなど、個別に時間合点数があり、平日でも早く帰れる時は割り振りを利用している。もっと参考にして、いい活動は全体で行うべきでは。
- 35 ●割り振りを堂々ととれる雰囲気づくりが必要。
- 割り振りが本当はどのように行われるべきなのかを知らない。
- 時間外勤務や割り振りがとれないことは仕方のないことだと思います。
- 40 ●割り振りは名目ばかりで、勤務の実態に合っていないと思います。早く帰ることができるなら普段から帰っているので…。
- この仕事は割り振りは期待しないで、たまにもらえたらラッキーくらいに考えるよ

うにしています。

- 今年、割り振りについては聞いていない。
- 割り振りより勤務時間を守ってほしい。

5 (勤務時間・休憩時間・勤務のあり方など)

- 休憩時間はとれないので4：15に勤務を解くべき。仕事量を減らしていくことが大切。
- 実質的に休憩なしの8時間勤務（8：00～16：00）が常態化しているので、終了時間を休憩時間分、繰り上げてほしい。
- 10 ●休憩時間は子どもが学校にいる以上、実質とれません。しかし、勤務時間から差し引かれてしまう。仕事量が減らない現状があるなら、18時まで延長勤務時間として設けてほしい。
- 休憩時間であろうと年休であろうと結局仕事はたいいていの場合、後で自分でやるしかない、自分にもどってくる。
- 15 ●休憩時間や勤務時間が守られていない。管理職がそれを守るよう努めているとは感じられない。
- 教員は、働きすぎで倒れる人が後を絶たない。きちんと勤務時間を守り、休憩がとれるようにすべき。
- 長期の休みも忙しくて、休めない。
- 20 ●意欲的に働くためには、しっかり休むことも大切だと思うので、きちんと休みが取れるようにしてほしい。
- 休憩時間が生かされていない。具体的に何がOKか教えて欲しい。
- 休憩時間が、自分自身よく分かっていない。何時～何時が休憩なのか知らない。
- 職員が堂々と休めるように管理職が配慮してほしい。
- 25 ●管理職は、せめて職員の休憩時間や勤務時間が守られるよう真摯に努力してほしい。
- 仕事量を減らすことをもっと真剣に考えてもらいたい。教科指導・部活指導・生徒指導等、やるべき事が多すぎるため、どれだけ時間外勤務をしても、やりきれないでいる。
- 30 ●業務は増える方向にある。（運動会や学芸会などの行事の華美化、若い人は1日に2～3時間を行事練習に使い、管理職も注意しない。むしろ称賛する。H. P. をアップするように打ち合わせで命じられる等）割り振りも「とってください」と言われるだけで、具体的に何時からとってよいのか分からない。
- 仕事量を精選してほしい。でないと、休みがとれない。
- 35 ●時間外の勤務がないようにしたいが、なかなか難しい。早期に割り振りがとれるように対策を立てたい。
- 時間外勤務自体を減らさないといけない。
- 会議などは、勤務時間を超えてはいけないと思う。
- 40 ●もっとゆとりが必要
- しっかりと時間を記録していくことが大切。権利を守るために。
- 中学校では、生徒が在籍している間は、勤務時間外でも勤務の感覚である。

- 部活をやっていると休みをとるのが難しい。
- 私は、個人的に困っている生徒や保護者が「聞いてください」と言ってきたら、「勤務時間ではないので」と断ることはできません。それが仕事というなら、仕方がないです。
- 5 ●私たち自身の「5時で帰れない。休憩時間なんてムリ」といったまちがった感覚、ゆがんだ感覚をみんなで直していきたい。
- 夕食が、あたり前の時間に食べられるような勤務でありたい。

5 教職員の健康問題

10 ◎健康で働き続けられるために何が必要か

- 事務的業務の軽度化
- 仕事を減らす。
- 時間を減らす。
- 仕事が多く休日もゆっくり休めない、自分が上手にやりくりできればよいが、なかなか難しい、夏休みにもう少し休みが取れるとよい。
- 15 ●適切な仕事割り振り
- 仕事量の精選
- コンピュータ作業が多いことに比例して、見てくればかりを気にして字体や行のずれなど不必要に細かな修正を求められる。大切なことが伝わればそれでいい。特に指導案は、先生たちしか見ないので手を抜いてもいいのでは。
- 20 ●業務の簡素化
- 無駄と思われることをただちになくす。
- 学校行事の精選、内容を現実的なものにする。
- 新しいことを入れる前に、必要ないものを削る方が先に行われるべき。
- 25 ●業務のスリム化を、管理職が率先して行う必要があると思う。何かを新しく始めたら、何かをやめるべきだ。学校で言えば、HPを隔日でアップすることと、研究授業に行ったらA4 1枚の反省を出すようにすることの2点が始まったが、やめたことは何1つない。
- 授業研究も大事だが、多すぎて形だけになっている気がする。
- 30 ●いろいろな問題を教員に押しつけられている状況にある。この10年くらいの間に教育界を取り巻く環境は激変したと思う。今のままで続けていたら、もっと健康を害する先生が増加することは間違いない。学校内で減らすことができるものを探す必要がある。
- 校務分掌の適切な配置。若い人たちの負担が中堅に押しつけられている。
- 35 ●仕事をしっかり割り振ること。一人の負担を軽くする。
- 何でもかんでも学校がやりすぎ。
- 体調不良で休まれる先生方が心配です。仕事を厳選する必要があると思います。優先順位を決めたいです。(仕事をやればやるだけ、子どもや学校のためになるとは思いますが)
- 40 ●持ち帰らないと仕事が終わらないほど忙しい。
- 人を増やす、事務仕事を減らす。

- 1クラスの学級人数を減らす。
 - 正規教員を増やして、1クラス複数担任にする。
 - 問題の児童がいて大変。人間的な配置が欲しい。
- 5
- 多忙化の解消
 - 時間的余裕
 - なかなか仕事が終わらず、帰るのが遅いため、疲れがとれない。
 - 多くの教員は、肉体的にも、精神的にも疲れている。学校生活にゆとりがまったくないと思う。
- 10
- 体調不良の先生が多くて行事が多すぎ忙しいと思う。余裕のある年計にして欲しい。
 - 勤務時間外に、自分の時間がしっかり持てること。そのために、仕事量を減らす必要あり。
 - ゆとり（時間、気持ちともに）
 - 早くの帰宅。適量の仕事量
- 15
- 土日は、完全に休みにする。5時以降は、電話がかかっても取らない。「学校は土日は休みで、5時以降は市役所といっしょで開いていないこと」を世間にしつかり示すべき。
 - 自分自身が心身ともに健康な状態にあるかどうかを時折振り返ることができるだけの時間的・精神的な余裕が必要だと思います。
- 20
- 普通の社会人並みの休憩時間（4時間に1度くらい）
 - 在校時間の調査があるけれど学校はまさに典型的な「ブラック企業」です。これを変えていかなければならないと思います。
 - 在校時間記録表を毎月出しているがあまり意味ない。むしろ忙しくなる。家で持ち帰ってする仕事は勤務ではないのか？疲れてしまうだけ。
- 25
- 休養を多く取る。
 - 勤務条件の改善が必要、調子が悪い時は気兼ねせず休んだりできる職場の雰囲気が必要だと思う。
 - 定期的な休日の確保
- 30
- 土日や祝日なども部活動があり、休みがありません。
 - 病気でも年休がとりにくい。実際に病気で休むときには療養休暇としてとられず、年休として処理しているのがおかしい。
 - 教員も仕事であると割り切って、休むことが大切だと思います。
- 35
- いつもというわけではないが心身ともにもう限界だと思うことがある。助けていただくことはあるが、責任を持ってやるのは自分ということになる。
 - 新任で赴任してきて職場に左右される部分は少なくともあります。私の友人（他県ですが）も、職場環境になじめず半年で退職している子もいます。
 - 学校以外での人間関係づくりや場所づくりなどが必要なと思います。
- 40
- 職員相互の協力
 - 職場の雰囲気が第一。よい雰囲気を作るためには、管理職の理解ある広い心が必要。よい教育をするためには、まず、教員が健康でなくてはならない。いつも心配りの

できる管理職であってほしい。

- 「ストレスや不安を抱えている」…その通り。まわりの評価ばかり気にしていて、自分の中にある思いや考えを表現できないので、不安です。若い先生方もです。
- 上手な（ストレス）解消法があるといいなと思います。
- 5 ●亡くなった方は、私の大好きな方です。いつ、自分がそうなるかもしれませんが、やると決めた以上やるしかありません。日本の企業でも生き残っている会社は、そんなふうには仕事が好きの人々から成り立っていると思います。残された家族は大変かもしれません。仕事をするということはそういうことだと思います。若い人にも知ってほしいです。
- 10 ●（本校は）良い学校環境だと思います。
- よい人間関係
- 仕事量はとても多いですが、楽しく働かせていただいています。それは周りの同僚の先生方との仲が円満に行えているためです。仕事が多くて大変でも、人間関係が良ければ、つらいとは感じません。
- 15 ●子どものことなど話を聞いてもらえる時間や雰囲気をつくること。
- （ストレスがたまっているわけは）納得できることが少ない。
- 問題だらけかもしれませんが、仲良く仕事ができたらいいです。今、保護者も生徒も先生同士も、批判・批評・点数化と、冷たい人間関係ばかりです。もっと血の通った温かい雰囲気で仕事ができると良いです。

20

6 その他

（教員免許更新制）

- 免許更新をなぜ教員だけと思う。講習は全く役に立たない。利権が絡んでもうやめられないのかもしれないが、給料（退職金）も下げられ、仕事は大変になり、八方ふさがり。
- 25 ●免許更新制は意味あるのか？時々講習を開くだけで十分。
- 教員免許更新制は、形ばかりで、あまり意味がない。校内での研修などで十分である。
- 教員免許更新なら、看護師や医師や弁護士等も更新制であるべき。
- 30 ●免許更新に伴うお金と時間がかかりすぎ。
- 無意味で、すぐやめるべき。
- 免許更新制は、教員に対するいじめ。即刻やめるべき。給料をよくしなければ、教員の質も上がらない。
- 必要性を感じない。
- 35 ●教員免許更新制は見直していただきたい。
- 教員免許更新制については、その必要性をまったく感じない。お金と時間と労力をかけて、本当にそれに見合うだけのせいかがあるのだろうか。現職教育に、校内・校外ともにもっと工夫していけばよいと思う。
- 教員免許更新は制度なのに、自費で負担することに疑問を感じます。
- 40 ●教員免許更新制は、いらぬ。やるなら、医師免許更新もやるべきだ。
- 免許更新や駐車料金廃止の働きかけをしてほしい。

(駐車料金)

- 駐車料金が安くなるとうれしいです。
- 駐車料金の徴収の撤廃
- 駐車料金の廃止
- 5 ● 駐車料金は早期廃止希望。おかしいと思う。
- 駐車料金問題，市町村で差があるのはおかしい。
- 駐車料金を取る意味はあるのか？そのたまったお金で何をしているのか知らせて欲しい。
- 駐車料金については，今後ともなくしていけるよう継続的に働きかけていただきたい。
- 10 ● 取られること自体，理屈上おかしい。
- とりやすいところからとっているとしたか思えない。
- 駐車料金問題については，市町によって異なるのはどうかと思います。全面無料化にすべきです。
- 学校の場所・出張場所・緊急対応など，車が必要な時は多々あります。駐車料金は
- 15 ● ぜひなくしていただきたいです。
- 駐車料金問題は，自家用車を使用しないで校務が果たせるよう努力しないで押しつけるのは，納得できない。
- 駐車料金も，公共交通機関の不便さを思うと，気持ちよく働ける環境とは言えない
- と思います。気持ちよく快適に働けてこそ，よい仕事ができると思うし，それが子
- 20 ● どもたちに還元されると思います。
- (近くにある)喫茶店の客が駐めている(のに，なぜ職員が駐車料金を支払わなければいけないのか)

(学校づくり・教育・パワハラ他)

- 25 ● 少人数学級になってほしいです。
- 40人学級にもどすのはやめてほしい。
- 子どもたちのためになることや教師の働きやすい条件づくりのためにお金を使うべき。
- 若い人(教員)が夢や希望が持てる学校をつくって行きたい。
- 30 ● 愛知県は管理教育なので，もっとのびのびとした子を育てられるようにすべき。
- とにかく，尾北や愛知県で当たり外れの学校を作らないように，しっかりシステムなどを統一すべき。
- メンタル面で病んでいる先生が増えており，現在の職場にもみえます。フォローする方も大変だし，本人も苦しんでいると思います。若い先生を支える体制ができれば
- 35 ● と思うのですが…。
- パワハラに対抗する具体的な手だては何か知りたい。心のバランスを崩し，悩む同僚に声をかけることしかできない。パワハラ定義にあてはまらなくても，一歩手前というのはよくある。学級経営と一緒に，有能な人による学校経営を切望する。

40